



ねん
2025年

じゅうなんしゅう
受難週

せいしよにっか
聖書日課



せいしよよ
聖書を読み お祈りをしたら、
たまごに色を塗いましょう

銀座教会教会学校



13日(日) 棕櫚の主日

(イエス様がエルサレムの町に入られた時に
大勢の人々が棕櫚(なつめやし)の枝を道に
敷いてイエス様を歓迎した日)



ルカによる福音書 19章 37～44節

(新約聖書 147 ページ)

「主の名によって来られる方、主に、祝福があるように。天には平和、いと高きところには栄光。」(38節)



おいのり 天の神様。このように祈った人々が、のちにイエス様を十字架につけよと叫びます。この罪はわたしたちの罪です。そのわたしたちの罪を赦すためにおかかりになった十字架を今日もわたしたちは仰ぎます。アーメン



14日(月) 受難の月曜日(宮清め)



ルカによる福音書 19章 45～47節

(新約聖書 148 ページ)

「それから、イエスは神殿の境内に入りそこで商売をしていた人々を追ひ出し始めて、彼らに言われた。『こう書いてある。「わたしの家は、祈りの家でなければならない。」ところが、あなたたちはそれを強盗の巣にした。』」(45,46節)

おいのり

十字架と復活を通して、イエス様が、本当の礼拝をささげる道を開いてくださいましたことを心より感謝します。祈りの家である教会に、これからもずっと通わせてください。アーメン



15日(火) 受難の火曜日

(香油を注がれるイエス様)



マタイによる福音書 26章 6～13節

(新約聖書 52 ページ)

「『なぜ、この人を困らせるのか。わたしに良いことをしてくれたのだ。貧しい人々はいつもあなたがたと一緒にいるが、わたしはいつも一緒にいるわけではない。この人はわたしの体に香油を注いで、わたしを葬る準備をしてくれた。はっきり言うておく。世界中どこでも、この福音が宣べ伝えられる所では、この人のしたことも記念として語り伝えられるだろう。』」(10～13節)

おいのり

イエス様を愛するあまり、弟子たちにとがめられても、大切な香油を全てささげたこの女性のように、喜んで神様にささげることができますように。アーメン



16日(水) 受難の水曜日

(わたしたちのためのイエス様の祈り)



ヨハネによる福音書 17章 1～26節

(新約聖書 202 ページ)

「『永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエス・キリストを知ることです。』」

おいのり

イエス様が今もわたしたちのために祈ってくださっていることを感謝します。この祈りの中で、わたしたちはあなたの命の中に生かされています。十字架を仰ぐとき、あなたが共におられることを信じさせてください。アーメン



17日(木) 洗足の木曜日 (弟子の足を洗うイエス様)

 ヨハネによる福音書 13章 1～20節
(新約聖書 194 ページ)

「もしわたしがあなたを洗わないなら、あなたはわたしと何のかかわりもないことになる」と答えられた。」(8節)

おいのり

イエス様がまず、
弟子たちの足を洗って
くださいました。

そして今も私たちの罪の汚れを洗い清めて
くださいます。その恵みの中でわたしたち
も、愛し仕える者にならせてください。
アーメン



18日(金) 受苦日 (イエス様が十字架におかかりにな った日)

 ルカによる福音書 23章 44～49節
(新約聖書 159 ページ)

「イエスは大声で叫ばれた。『父よ、わたし
の霊を御手にゆだねます。』こう言って息を
引き取られた。百人隊長はこの出来事
を見て、『本当に、この人は正しい人だった』
と言って、神を賛美した。(46～47節)

おいのり 十字架の死に至るまで天の父に
従い きたイエス様を見た百人隊長
が、最初の信仰告白をしました。わたしたち
も、信じて告白します。あなたこそ唯一の
正しい人。私たちの罪を贖う神の御子で
す。アーメン

おいのり



19日(土) 受難の土曜日 (イエス様が十字架におかかりにな った日)

 ルカによる福音書 23章 50～56節
(新約聖書 159 ページ)

「イエスと一緒にガリラヤから来た婦人た
ちは、ヨセフの後についていき、墓と、イエ
スの遺体が納められている有様とを見届け、家
に帰って、香料と香油を準備した。(55～
56節)

おいのり イエス様が
十字架で死んだとき
弟子たちも婦人たち

も、これで終わりだと思いました。
でも、そうではありませんでした。
私たちも、希望を失いそうになる時、そ
れで終わりではないことを信じさせてくだ
さい。アーメン



20日(日) イースター (イエス様がよみがえられた日)

 マタイによる福音書 28章 1～10節
(新約聖書 59 ページ)

「イエスは言われた。『恐れることはない。
行って、わたしの兄弟たちにガリラヤへ
行くように言いなさい。そこでわたしに会う
ことになる。』(10節)

おいのり 復活してくださったイエス様が
弟子たちに何度も出会ってくださいました。
わたしたちの歩みにも出会ってください。イ
エス様が今も生きておられることをわたした
ちもイエス様との出会いを通して知ることが
できますように。そしてその恵みを宣べ
伝える者に
なることができます
ように。アーメン

